

龍の子人づくり学習 (ゆめ・みらい)学習 実践記録

中根台中学校区

中根台小 中学校

学年 中2年 教科・領域 社会科・総合的な学習の時間 実施期間 10月中旬～2月下旬

単元・題材 ◎龍ヶ崎市魅力探しの旅～フィールドワーク～（総合的な学習の時間）
 ・行事等 コロナ禍により実施できなかった2年生の宿泊学習に代わり、龍ヶ崎市の魅力をスポットのフィールドワークという形で体験活動し、シビックプライドの醸成を図る。道徳科の内容項目「よりよい学校生活・集団生活の充実」について考えさせ、つながる力の育成を図るために単元を構成した。英語科では、プレゼンテーションを通して自分の街などに興味をもって調べてまとめることを関連付けて行う。美術科では、地域との関わりをさらに身近なものへと関連付けるために、訪れた場所のピクトグラムの制作を行う。自ら調べたことを発信していくことで、地域での一員としての役割を考えるとともに、地域の活性化に努めたい。

目 標
 ・仲間と触れ合い、コミュニケーションを図りながら、活動を共にすることを通して、互いのよさを認め合い、生徒一人一人の主体性や協調性を高める。（つながる力）
 ・地域の課題解決を社会の構成員として、自分の考えをもつとともに、主体的に担う力を育み、地域に貢献する。（こえる力）

【実践】

10月上旬 英語科：「ホームステイガイドブック」の作成

10/16：「龍ヶ崎市を調べよう」（個人で調べ学習）

10/22 道徳科「ハイタッチがくれたもの」

（内容価値：よりよい学校生活・集団生活の充実）

10/23：「龍ヶ崎のよさを知ろう!!」（講義形式）

- ・市役所のシティセールス課の方より龍ヶ崎について説明してもらい、住んでいる街のことや観光スポットについて詳しく知る。

歴史や知らないことを聞いて、たくさんの質問が出ました。



10月中旬：学活「新型コロナウイルス感染症に関する差別と偏見」

- ・自他の理解と尊重をし、心身ともに健康で安全な生活を送りながら、差別や偏見をしないために必要なことについて話し合い、自分の取り組むことを決める。

10月中旬：社会科「日本の諸地域」身近な茨城県の魅力について考察する。

11/6：「気になる場所を調べよう！」（個人で調べ学習）

- ・講義を聞いて、龍ヶ崎市の気になる場所をタブレットや龍ヶ崎市が発行している冊子で調べる。

11/20：グループで行き先を決定し、行き先について詳しく調べる。

11/27：計画表を作成する。

- ・公共機関を使った行き方やスケジュール、見所スポットの確認、歴史や成り立ちなどのグループでも役割分担をして、詳しく情報を集める。

11月下旬～12月上旬 英語科：「龍ヶ崎の魅力を英語で紹介しよう！」プレゼンテーションする。

12/4：フィールドワーク事前指導

12/11：フィールドワークへ

12/15：美術科「あなたの街のピクトさん」

調べた見所スポットをピクトグラムでデザインする。(2月に完成予定)

1月下旬または2月上旬：発表

ICT機器を活用した発表を市長さんたちの前で実施する予定

振り返りを
通しての子
供の変容・気
づき

つながる(80%) こえる力(85%)

- ・身近ではあったが、興味をもつことになった自分の街に興味をもつことができるようになった。
- ・友達と協力する際にも、相手の気持ちを考えた譲り合いや思いやりをもって接する姿が見られた。

【効果があった取組】

- ・ゲストティーチャーを招いて話を聞くことで、いつも以上に興味・関心を課題に対してもつことができた。興味に対する質問なども物怖じせずできるようになった。
- ・つながる共通のツールとしてタブレットを取り入れたことで、コミュニケーションが上手にとれるようになった。
- ・ICT機器を使うことで、調べ学習の作業に対して取り組むのが苦手な生徒が取り組みやすくなり、全員が調べ学習を行うことができた。また、多くの情報の中から必要なものを取り出して行う、情報の精査を行うことができる生徒が増えた。